



全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 竹内洋司／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>



続いて、村上全消協会長は、全消協の組織と消防職員が置かれている状況について紹介した上で「ILOは日本政府に対し、消防職員の団結権付与について勧告を行っているが、政府が勧告を無視



自治労・川本淳委員長

冒頭、川本自治労委員長は「消防職員には団結権がない。団結権の獲得にむけて、ここに結集された議員の皆様のお力をいただきたい」と呼びかけた。

2019年3月13日、東京・衆議院第二議員会館において「自治労消防政策議員懇談会」設立総会が開催された。この議員懇談会は、自治労が消防職員の団結権回復をめざし呼びかけた。設立総会には、衆参で(代理を含め)102人も議員が参加した。自治労からは川本淳委員長、袖谷尚彦副委員長、高橋篤総合組織局長、豊福るみ子組織対策局長、全消協からは村上直樹会長、斉藤英之副会長、竹内洋司事務局長が参加した。

「自治労消防政策議員懇談会」設立総会 消防職場が抱えている問題を国政に!

消防職員をめぐる課題について、竹内全消協事務局長が、①消防職員の団結権回復にむけた現状、②消防職員委員会制度の限界、③ハラスメントの現状について説明し、「私たちが団結権を望むのは自らの労働条件の向上のためだけではなく、消防職場を民主的で働きやすい環境にすることで、よりよい消防行政を実現し、市民への質の高い公共サービスの提供に繋がりたい。そのためには、現行の法令・制度上の不備を立法府で改めるこ



全消協・村上直樹会長

し続ける状態が続いている。消防職員の団結権の回復にむけて、多くの議員の皆さまにご協力いただきたい」と挨拶した。

自治労消防政策議員懇談会会長の逢坂誠二衆議院議員より「民主党政権当時、小川淳也衆議院議員や私が総務大臣政務官時代に『消防職員の団結権のあり方検討会』を開催した。消防職員の団結権について議論を重ね、法案も提出したが、あと一歩というところで、残念ながら廃案となった。消防職員に団結権を付与できるよう、議員懇談会に結集した皆さんとともに頑張っていきたい。また、災害も多発する中で、消防職員はありとあらゆる現場に駆り出されてい



全消協・竹内洋司事務局長

とが必要不可欠であり、国会議員の皆様のお力が必要だ。是非ご協力をお願いしたい」と訴えた。

- 〔役員体制〕**
- 顧問 赤松 広隆 衆議院議員
 - 会長 逢坂 誠二 衆議院議員
 - 副会長 小川 淳也 衆議院議員
 - 副会長 奥野 総一郎 衆議院議員
 - 副会長 吉川 元 衆議院議員
 - 事務局長 武内 則男 衆議院議員



逢坂誠二衆議院議員

る実態にもかかわらず、予算は十分ではない。予算確保についても皆さんに国会質疑等でご協力をお願いしたい」と述べた。

各県代表者会議(組織強化対策)を開催

総務省消防庁の加藤消防・救急課長が全消協行事に参加!!

2019年2月8～9日の2日間、東京・TKP市ヶ谷カンファレンスセンターおよび自治労会館で、2019年度県代表者会議を開催、各県の代表者32人が集まった。

2日間の概要

1日目

加藤雅広総務省消防庁消防・救急課長(2月8日時点、4月1日人事異動で交代)にお越しいただき、「消防職員委員会の告示改正等について」の説明が行われた。全消協行事に現役の総務省消防庁の課長に参加いただけたことは、この間の取り組みの成果と考えられる。



加藤総務省消防庁消防・救急課長(左)

2日目

午前中は斉藤英之副会長が「消防職員委員会の告示改正を受けての対応策について」、竹内洋司事務局長が「組織強化・拡大の新たなアクションプランについて」、続いて、佐藤昭徳九州ブロック幹事が「組織強化・拡大について」それぞれ提案した。その後、組織強化・拡大への課題と改善点についてグループディスカッションを行い、討議内容について発表した。午後からは松森玲奈女性連絡会代表が「女性連絡会の活動報告」、吉田真也ユース部代表が「ユース



部の取り組み状況について」を報告した。その後、次年度の全消協活動方針および全消協活動全般について、各県代表者と活発な議論や意見交換を行った。
最後に、斉藤英之副会長が「アクションプランや活動方針について活発な議論・検討ができた。引き続き、皆さんと力を合わせて組織強化・拡大を進めていきたい」と総括し、村上直樹会長の団結がんばるうで会議を終えた。

第10回リーダーセミナー

組織強化・拡大の新たなステージにむけて

3月15～16日、東京・自治労会館で、全消協第10回リーダーセミナーを開催した。組織を担うリーダーとして必要な知識と課題に取り組む姿勢を学ぶため、全国より62人(未組織消防職場2人含む)の会員が参加した。

2日間の概要

1日目

はじめに、村上直樹会長より「全消協は組織強化・拡大にむけて取り組んでいる状況にある。今回のリーダーセミナーのテーマに沿って、参加者の皆さんと組織強化・拡大にむけ、どのような取り組みが必要かなどを検討し、今後の活動に活かしていただきたい」と主催者挨拶を述べた。
1日目は、竹内洋司事務局長の本部提起で始まった。その後の「組織強化・拡大について」の講義では、島武志特別幹事が、全消協が進めてきた取り組みや歴史背景を紹介した上で、今後の未組織消防組織へのさらなるオルグ活動の必要性について説明した。



その後、各グループ内で「魅力ある協議会活動について」「若手会員の育成について」をテーマに、事前資料を用いてグループワーク・発表を行い、情報を共有した。

2日目

2日目は、高田邦治自治労福岡県本部副委員長が「政治闘争に背

をむけてはたたかえない」をテーマに講義を行った。講義では、単協としての選挙活動に関する取り組みや注意事項についての説明があり、その後、各グループ内で「政治活動への取り組みについて」をテーマに、グループワークで出た意見を発表し、選挙活動の取り組みについて深く学んだ。
全体総括として、斉藤英之副会長は「協議会活動に取り組むことは、より質の高い消防の住民サービスに繋がるもの。今回学んだことを組織に持ち帰り、活かしていただきたい」と総括を述べた。
最後に、沼田健太郎副会長の団結がんばるうで閉会した。



全消協第2回ユースStepセミナー

次世代の組織を担うユースが全国から集結!!

3月6～7日、東京・自治労会館にて、全消協ユース部が企画・主催した「第2回ユースStep Upセミナー」を開催した。全国各単協の35歳以下の会員52人が参加し、2日間で7つの講座で知識を学び、グループディスカッションや懇親会を通じて、親睦を深めた。

講座を担当したユース幹事の所感

鈴木銀河（東北ブロック）

講座Ⅰ：組織成り立ち 男女共同参画

若い世代にどうわかりやすく簡潔に情報を伝えられるか、理解してもらえないかを考え準備した。消防職員の現状の立場、協議会の成り立ちや男女共同参画の必要性を伝えることができた。講座を通じてほかの職場の仲間と繋がりをもち、気付きのきっかけとなったと確信している。

伊藤達也（東海ブロック）

講座Ⅲ：労働安全衛生

若手職員を短期間で即戦力に育て上げるという課題を抱える中、パワハラは深刻な問題となっている。安全に教育、指導、育成を行える、受けられるといった環境を整えていく必要がある。

今回のセミナーを通して、ハラメントなど多くの問題が山積し

ていることが理解できたかと思う。これらの問題から目を背けることなく、一つひとつ解決にむけ取り組んでいきたいと思う。

山田哲也（近畿ブロック）

講座Ⅳ：メンタルヘルス

メンタルヘルスについて、まずは知る事が重要。グループディスカッション等を取り入れ、参加型の講座とした。今回の講座のように、自分たちの職場を笑顔溢れる環境につくり上げていくためには、ユース世代の活気ある力が不可欠だ。このセミナーを通して、自分や仲間を守る人材が増える一躍を担えれば幸いだ。

江部 寿（北海道ブロック）

藤原稔文（中国ブロック）

講座Ⅴ：消防財政

どの部分を伝えたら「財政に興味をもってもらえるか」というこ



とだけを考えて話した。この講座が「消防財政」を知ることになったければ、「Step Up」になったと考える。（江部）

三好浩一郎（四国ブロック）

講座Ⅶ：LGBT

LGBTという言葉は、消防現場ではまだまだ浸透していない事実がある。まず知ることが大切。消防に入職してから誰もが聞く言葉である「目配り、気配り、心配り」は、誰もが実践できるみんなのための活動である。小さなことからできることはきつとある。セミナーでの経験を生かし、協議会活動の幅を広げていきたい。

酒井一成（北信ブロック）

高木康臣（関東申ブロック）

講座Ⅵ：賃金・労働条件

労働条件の改善には、まず、自分たちの労働条件を知る必要がある。今回の内容で少しでも自分の労働条件を知るきっかけになればいいと思う。（酒井）

苦意思識をもつことが多い法令関係に限定し、とくに、自分の職場環境をほかと比較することに重

アンケート結果を参考に、現状の課題および今後の活動の参考にねればと思う。

【全体所感】

今回も非常に有意義なセミナーが開催できたと感じている。

受講者の所感

越谷市消防職員協議会 中野翔也

セミナーを受けるまではどんなことをやるのかわからず不安でした。しかし、幹事の方が面白く、わかりやすい講習で楽しく受けることができました。そして何より、上は北海道から下は沖縄と全国からの参加者と情報を共有できる環境をつくっていただいたことを嬉しく思います。

私たちが普段何気なく仕事をしている職場は、周りの人の支え、仲間のために動き出してくれた人々がいて、今が成り立っていることを実感できました。我々を支え、人助けになってくれる協議会という場があることを、新しく入ってくる後輩たちに伝えていくのも、私たちの役目だと感じました。

新見市消防職員協議会 坂本竜也

2日間のセミナーを通し、「協議会がどのようにして立ち上がったのか」という初歩的なことから学ぶことができ、とても有意義な時間でした。

セミナーでは消防費がどうやっ



て算出されているのか、安全管理への取り組みなどを知ることができました。また、メンタルヘルスやハラメント問題なども学ぶことができ勉強になりました。また、同世代の参加者とのディスカッションを通じ、自分が今まで当たり前と思っていた環境が、個々の消防本部で全く違うということを知ることができました。今回のセミナーで得た情報をもとに、まずはわが本部ではどのようになっているのか調べ、学びたいと思いました。

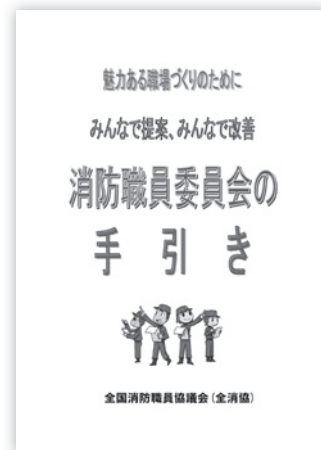
消防職員委員会の手引きを改訂しました!

「消防職員委員会の組織及び運用の基準の一部改正等について(平成30年9月6日消防庁消防・救急課長通知)」が通知されたことに伴い、全消協作成の「消防職員委員会の手引き」を改訂いたしました。

全消協HPに掲載しておりますので、参考資料としてご利用ください!

消防職員委員会の手引きURL

<http://zensyokyo.jp/wp-content/uploads/2019tebiki.pdf>



岸まきこ(さん) 全国各地の消防協を訪問!

第25回参議院比例代表選挙自治労組織内予定候補である岸まきこさんが、全国各地の自治労単組や消防協を訪問しています。

2019年2月25日に開催された北海道消防職員協議会青年女性研修会では、岸さんが参加会員107人に向けて力強く挨拶しました!



半鐘の足音

ある単協の学習会に招かれ、組織強化の講師をすることになった時の話である。

「採用要綱に大型免許取得」という記載があり、実際にその消防本部では、自費で大型免許を取得しているということであった。私が「所属する本部では免許取得費用は予算化されている」と答えた時に、会場が少しざわついたのが印象深かった。そういえば先輩から「昔は消防学校への出張旅費がなく、寮費を支払ったら、家に帰るうにも電車代がないから、日曜日も学校にいなければならなかった。消防協ができて旅費が支給されることになって、お

前ら良かったなあ」という話を聞いたことがある。もう何十年前の話で、時代が違ったと言えるほど終わる話だろうけども、若い人に自分と同じ苦しみ、問題を残すまいと頑張ってくれた先輩がいたことは忘れてはいけないことだと思っ。

また、先日、定年退職を迎える先輩から「入署から退職まで大きな怪我、病気もなくここまで来られた。とくに最後の4年間は自分を立ててくれて、ストレスなく仕事できたのは、そういう職場風土、協議会があったからだ。ありがとう」というメッセージをもらった。私は正直に嬉しかった。優しい気持ちになった。

佐藤昭徳(九州ブロック幹事)

ぜひアクセスや「いいね!」をお願いします。

全消協
ホームページ



ユース部
公式Facebook



全消協
公式Facebook



女性連絡会
公式Facebook



最新の全消協活動を 配信中です

次回、全消協の予定

2019年6月7日(金)～8日(土)

第47回 全国消防職員研究集会

場所 天満研修センター (大阪府大阪市)